

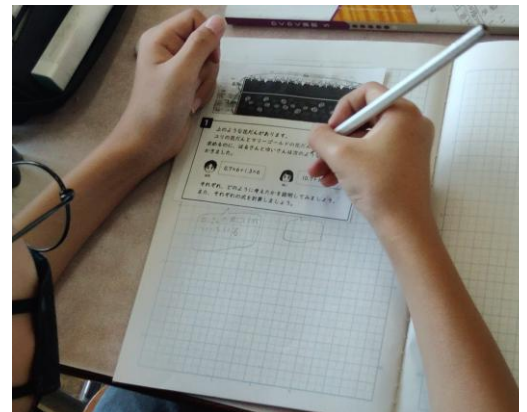
# 高美小学校内 TM だより

R8.5.25.NO.6

5年2組の算数（少人数）の授業におじゃましました。

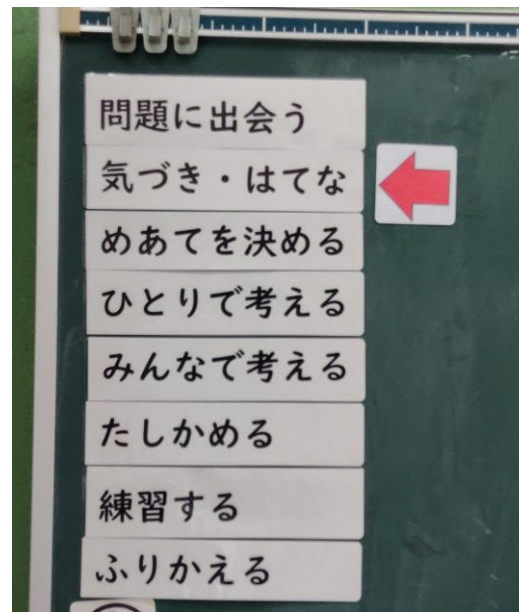
## ★問題との出会いと見通し★

小数の計算の仕方を考える学習に取り組んでいました。ユリの花壇とマリーゴールドの花壇、それぞれの面積の合計を求める問題と、二通りの求め方を表す式が提示され、絵や式をもとに考える場面から授業が始まりました。全員そろってスタートすることができるよう、絵と問題文と一緒に読み、丁寧に全員で確認する時間が設けられていました。その後、子どもたちは、気づいたことや疑問をふき出しに書き出しながら、自分の考えを整理していました。「同じものを見ているのに、意見がちがう」といった“はてな”につながる考えも生まれていました。子どもたちは気づきを自由に発言し、渡邊先生はそのどれに対しても「なるほど」「いいね!」と前向きに受け入れる声掛けをされていました。失敗をおそれず、安心して発言することができる雰囲気づくりをされていました。黒板の端のスペースを利用して、授業の流れがあらかじめ共有されており、見通しをもって、安心して学習に向かっている様子が見られました。



## ★考えを深めるやり取り★

いきなり式の意味を問うのではなく、まず計算して答えを出すことから始めておられました。途中「なんで片方の式は6が一回しか出てきていないのに、もう片方の式には6が二回出てくるの?」という“はてな”が子どもたちから出ました。渡邊先生はすぐに返事をするのではなく、「なんでだろうね」と黒板に跡を残し、まずは予定通り計算の答えの確認をされました。深めたい問いにすぐ取り掛かると、計算に時間がかかっている子が置いていかれてしまうかもしれません。一人ひとりのペースを大切に、少しずつ丁寧に積み上げるように授業を進めておられました。



## ★多様な考えをつなぐまとめ★

どちらの式でも答えが同じになることを確かめたうえで、「同じ面積でも、ちがう考え方で式を立てることができる」と、子どもたちの言葉をもとにまとめられていました。考え方の違いを言葉で説明したり、式の意味を確認したりすることで、一つの答えに至る過程を大切にしている様子が見られました。さらに、式の穴埋めの問題を通して理解の様子を確かめる場面もありました。

～まとめ～

子どもたちの気づきや疑問を大切にしながら、全員で少しずつ考えを深めていく授業でした。「なぜ式がちがうのか」といった“はてな”をすぐに解決するのではなく、問いを残しながら学習を進めることで、子どもたちは自分で答えにたどり着こうと、式の意味や考え方に目を向けているように感じました。また、授業の流れを共有したり、子どもたちの発言を前向きに受け止めたりすることで、安心して学びに向かうことができる雰囲気もつくられていました。渡邊先生、5年2組のみなさん、ありがとうございました。